

個人や集団のよさを認め、互いに高め合うことのできる生徒の育成 —日常生活や行事での振り返りシートを活用した学級活動を通して—

特別研修員 生徒指導・教育相談 萩原 正人（中学校教諭）

生徒の実態

- ・人間関係がほぼ固定されており、仲のよい生徒同士で小集団となる傾向がある。
- ・近い友人以外にはあまり関心をもたず、他者や学級全体と関わろうとする意識が弱い。

事前

手立て①：週末振り返りシート

週末に自分や友達、学級全体で頑張ったことを記述する。多くの生徒のよさに気付けるように、『同じ委員会の人』など、頑張ったことを記述する対象を学級委員が決める。

〇〇さんが配付物を手伝ってくれた！

僕はテスト勉強を頑張った！



手立て②：My Piece シート

行事前に活動内容について個々の目標を立て、行事後には自己評価に加えて他者からも評価してもらう。

〇〇くんは班長として班をまとめてくれた！



MyPiece シート～一人一人がクラスの一員～

1. 今回の目標 (自分や友達、学級全体で頑張ったこと)

班長 cut. 〇〇くんは班をまとめてくれた。

2. 自己評価とその理由 (自分や友達、学級全体で頑張ったこと)

理由 A・B・C・D

3. 友達から (自己評価や他の人の評価と受けたいことを書きましょう)

名前	自薦にあげた評価	他に褒めたいこと
〇〇	〇〇くんは班をまとめてくれた。	〇〇くんはテスト勉強を頑張った。
△△	△△さんは配付物を手伝ってくれた。	△△さんはいつも笑顔で話しかけてくれる。
□□	□□さんはいつも授業中に積極的に発言してくれる。	□□さんはいつも机を綺麗に保っている。

活用Ⅰ：それぞれのシートの記述から、計画委員が学級の課題や改善事項を考え、学級活動の時間に提案する。

議題：「私たちのクラスをよりよくするための計画を考えよう」

活用Ⅱ：これまでのそれぞれのシートの記述を振り返り、自分や友達のよさを生かした係や仕事について考える。



『学級をよりよくするための係や役割』を3～4人のグループで話し合って、学級に提案し、合意形成を図る。

- ☆提案された係や役割など
- ・応援係
 - ・入試対策係
 - ・メモリ委員
 - ・企画委員

本時

事後

実践の感想（生徒記述）

3Aのみんが、さらに良いクラスを目指すために、くさんの意見を出し合い話し合いができたのでよかったです。残り少ないみんがといえることができないけど最高のクラスにしていきたいです。

係の仕事なども自分たちで考えて教室に掲示し、一人一人が学級のために活動しているという意識をもたせる。



目指す生徒像

個人や集団のよさを認め、互いに高め合うことのできる生徒

成果

- それぞれのシートの記述には、友達の積極的な行動だけでなく、清掃や手伝いなど様々な行動についても互いに認め、褒め合う内容が見られた。このような自他の取組を評価し合うことで、自己存在感が高まり、他者への理解が深まった様子も多く見られた。
- 二つのシートの記述から課題や改善事項を考え、全体に提案することで、自発的・自治的な活動となり、個や集団として互いに高め合おうとする意識が育成された。

課題

- 週末振り返りシートは提出・確認後に掲示しているが、評価されたことを紹介するなど、更なる活用方法を考えたい。
- My Piece シートは、行事だけでなく日常的な学級活動においても使えるような形に改善したい。